

令和8年度 釧路市立共栄小学校 グランドデザイン

【共栄中学校地区 目指す子ども像】

地域の中で学び、つながり、主体的に行動できる子ども

【本校の教育目標】

「人間性豊かな児童を育てる」

【目指す児童像】

知…深く考え、進んで学ぶ子
情…明るく、豊かな心の子
意…ねばり強く、最後までやり抜く子
体…進んで運動し、体をきたえる子

【目指す教職員像】

1. 子供への深い教育愛をもつ教師
2. 授業力の向上に取り組む教師
3. 多様な人とよりよく関わる教師

【目指す学校像】

「『やってみたい』『みんなで取り組むことが楽しい』という思いが
あふれるウェルビーイングな学校」

- 児童が、友達と仲良く協働しながら、主体的に学習活動に取り組む学校
- 家庭が、安心して子どもを任せられる学校
- 地域が、親しみをもって応援したくなる学校
- 教職員が、やりがいと働きやすさを感じられる学校

【令和8年度の重点及び指標】

1 確かな学力の確立

- (1) 「釧路市が目指す授業」を踏まえた日常的な授業の改善・充実（「聴く姿勢」の定着、自己決定・振り返りの場、「学習の手引き」）
- (2) 各種調査結果を踏まえた学力向上の取組の推進
- (3) 小・中で連携した読書の習慣化に向けた取組の充実
- (4) 「家庭学習の手引き」に基づく、家庭学習の充実に向けた取組の推進
- (5) 授業と家庭学習におけるタブレット端末の効果的な活用

- ▶CRT～平均正答率全国平均以上
- ▶学校評価「読書」～三者3.0以上
- ▶学校評価「家庭学習」～三者3.2以上

(担当分掌：教務部、研修部、文化部)

2 豊かな心の育成

- (1) 「善悪の判断」「親切・思いやり」「感謝」を重点にした道徳教育の推進
- (2) 「人間関係形成」「社会参画」「自己実現」を意識した特別活動の充実
- (3) 「承認」を土台とした心理的安全性の高い学級経営
- (4) 「挨拶」「言葉づかい」に関する取組の充実
- (5) 「静と動のメリハリ」を意識させる指導の徹底（廊下歩行、授業と休み時間との区別）

- ▶学校評価「生活のきまり」～三者3.3以上
- ▶学校評価「挨拶」～三者3.2以上
- ▶学校評価「学校が楽しい」～児童3.5以上

(担当分掌：教務部、生活部)

3 健やかな体の育成

- (1) 運動の楽しさを十分に味わい、運動好きにするための体育の授業改善
- (2) 望ましい生活習慣（メディアやゲーム・インターネットのふれ方）の定着に向けた家庭と連携した取組の推進
- (3) 不登校の未然防止と組織的対応

- ▶学校評価「体育の授業で運動することが楽しい」～児童3.5以上
- ▶学校評価「放課後や休みの日、外遊びや運動をよくしている」～児童3.2以上
- ▶学校評価「メディア、ゲームの約束」～三者3.0以上
- ▶不登校～不登校児童数を増やさない

(担当分掌：総務部、保体部、生活部)

4 「チーム共栄」としての組織力向上

- (1) 「働き方改革推進事業」を通じた教職員の「働きやすさ」や「働きがい」の実感をともなう働き方改革の推進（働き方改革推進委員会を中心とした取組の検証と改善）
- (2) 安心して働ける職員間の心理的安全性の確保（夕打ちを活用した情報共有）
- (3) 全教職員の専門性の向上（一人年2回以上の研修講座への参加、校外研修における校内への還流）
- (4) 学年、分掌組織を通じたOJTによる若手教員の組織な育成
- (5) 若手教員のニーズに応じたメンター研修の実施

- ▶学校評価「働き方改革」～教職員3.5以上
- ▶時間外在校等時間～1か月45時間以内、1年間360時間以内

(担当分掌：総務部、研修部、事務部)

5 連携・協働による学校力の強化

- (1) 地域学校協働活動推進員を核とした保護者・地域ボランティアによる教育活動の充実
- (2) 地域の「ひと・もの・こと」を活用した教育活動の充実
- (3) 小中ジョイントプロジェクトの推進（3校連携による校内研修の推進、地域清掃、引き渡し訓練、ふるさと・キャリア教育の全体計画の策定）
- (4) コミュニティ・スクールとの「熟議」を通じた、教育活動の改善・充実
- (5) 地域との連携による「挨拶」の活性化に向けた取組の推進

- ▶学校評価「地域学習」～三者3.5以上

(担当分掌：総務部、教務部、生活部)